

その研究と情報

186号

2003
July



特集●————— 1

視覚障害教育の専門性と盲学校のセンター構想 ◎鳥山 由子

ルポ●————— 19

フィンランドの視覚障害者教育事情と大学進学 ◎加藤 宏

アジアレター ● ————— 28

福祉放送番組を通して社会啓発に取り組む

ネパールのカマル・ラミチャミさん ◎山口 芦風

今を走る 1 ● ————— 35

“爽やか”という表現がぴったりの溝上先生 ◎関 宏之

今を走る 2 ● ————— 45

松本義和 ～笑顔はほんまもん～

—100キロの巨漢は踊る、柔道からサッカーまで—

◎岩井 和彦

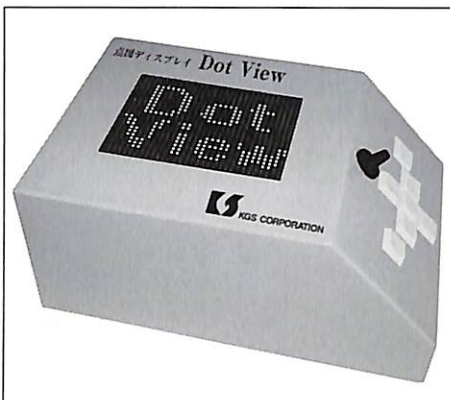
■点図ディスプレイ

図形情報を点図の形でリアルタイムに表示。
まったく新しい触覚の世界をKGSが実現しました!

全世界が
注目!

新登場

ドットビュー (Dot View DV-1) ¥648,000 (税別)



パソコン上のあらゆる画面情報を瞬時に表示し、認識活用できる新触覚時代創造ツールです。「ドットビュー (Dot View DV-1)」は図形情報を点図の形でリアルタイムに表示できるポータブルな点図ディスプレイです。24ドット×32ドットの表示部は高速にリフレッシュできるので、スクロールや拡大縮小などの操作も思いのままです。静止画、ANK、漢字はもちろん動画、点字も含めたマルチ表示があらゆる場面で自由自在です。点図使用者の図形情報アクセスに新たな可能性を開きます。

パソコンの
操作支援ツールとして

図形学習
ツールとして

墨字 (一般文字) 学習
ツールとして

画像触覚
ツールとして

アミューズメント
分野への応用



文章表示画面例



図形表示画面例



Web情報表示画面例

■ブレイルノート (点字ディスプレイ)

KGSの点字技術を集大成したスマートかつハイエンドな点字ディスプレイ

ブレイルファミリー
対応機種

ブレイルノート Braille Note 48X

BN46X ¥449,000 (非課税)

新製品



- 点字ディスプレイ「ブレイルノート」は、点字利用者のパソコン利用の強力な支援ツールとして、正確でリアルタイムな点字情報を伝達する必携コミュニケーションツールです。新開発「ブレイルノート48X」は究極の点字ディスプレイとして、さまざまな便利機能を付加した、コストパフォーマンスに優れた、スマートでコンパクトな世界最先端の点字ディスプレイです。
- 点字文書の読み書きや校正はもちろん、時計、アラーム、カウントダウン・タイマー、ストップウォッチ、カレンダー、電卓など、日常生活の中で便利に使える機能やスケジュール帳、表の集計機能など、身の回りの情報管理に役立つ機能を内蔵、これらの機能は、点字ディスプレイ機能と平行して動作しますので、本体内部の文書を読みながら、パソコンを操作することが可能です。



Braille Note 480

¥449,000

さらにお求めやすくなりました。

新価格 ¥349,000

■ブレイルメモ®

ブレイルファミリー
対応機種

あらゆるシーンで活躍する点字利用者の必携情報機器

Braille Memo BM16

Ver1.2.1 ¥198,000 (非課税)

片時も手放せないほど重要な存在となったブレイルメモは、昔ながらの不便な点字利用環境を根底から覆すほどのインパクトを持った新しい情報機器として、点字利用の便利さ、有効性を再認識させ、点字文化をダイナミックに継承して行く最新便利ツールとして、着実に浸透、普及し始めました。ブレイルメモ16は8点16マスの点字表示部と各種入力キーをそなえた、バッテリー内蔵の小型軽量の携帯仕様で、いつでも、どこでも手軽にメモを取ったり、時計、電卓、カレンダーなど便利なアクセサリ機能を利用して、日常必要な身の回りの情報をしっかりと管理、あらゆる場面で、情報の有効利用ができる必携ツールです。



●カラーは、ブルーとピンクの
2種類をご用意しています。

ケー・ジー・エス株式会社
KGS CORPORATION

〒355-0321 埼玉県比企郡小川町小川1004 TEL.0493-72-7311 (代) FAX.0493-72-7337
E-mail: info@kgs-jpn.co.jp URL: http://www.kgs-jpn.co.jp

●掲載製品についてのお問い合わせは弊社営業部まで ※製品の仕様、規格及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

胸に抱負と花束を

—平成15年度みずほ奨学生発表式



去る5月16日（金）みずほ銀行本部（大手町 旧富士銀行本店）にて盲学生点訳介助事業の奨学生発表式が行なわれました。出席者は奨学生6人（うち1名は2年生）、みずほ福祉助成財団の理事長および理事3名、運営委託されている視覚障害者支援総合センター理事長他計12名。本事業は毎年大学進学者から原則として5名の奨学生を選考し、1学生につき年間30万円分の点訳・朗読費用を助成するもので、昭和61年に開始され、今年で奨学生は通算110名となりました。

（写真提供／みずほ福祉助成財団 文／金築由紀）

埼玉県初の福祉ホーム むさし静光園



社会福祉法人日本失明者協会（埼玉県深谷市 茂木幹夫理事長）は新たに身体障害者福祉ホームむさし静光園を建設、平成15年4月1日開園されました。身体障害者福祉ホームは身体障害者福祉法に規定される施設で、入所対象者は家庭環境や住居事情等により家庭に居ることが困難な18歳以上の身体障害者。昭和62年に創設され、その数は全国で約50ヶ所（平成14年3月31日現在）、埼玉県では同園が初めて。同園はゆったりとした完全個室（1部屋26.6㎡）で入所定員10名、入所者は自立生活を営みながら、希望すれば各種在宅福祉サービスを受けることも可能。

同協会では今後重度視力障害者等を受け入れる身体障害者療護施設や全国の盲人が集うスポーツ文化交流センターの建設も計画中のことです。

（写真提供／日本失明者協会 撮影／三上奈美恵 文／金築由紀）

一堂に会したアイ メイト



財団法人アイ メイト協会の同窓会総会が去る4月19日（土）日本点字図書館で開かれました。集まった人と犬のペアは46組。同窓会会員は年1回の総会以外にもレクリエーションや旅行等により親睦を深めています。

同協会が世に送り出したアイ メイト（同協会育成の盲導犬の呼称）は、昭和32年の国産第1号チャンピイ以来46年間で884となりました（平成15年3月31日現在）。全国で現役活躍中の盲導犬の数は約900といわれ、そのうちアイ メイトが282を占めています。



（撮影・文／金築由紀）

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

次号（2003年 9 月 No.187）予告

特集 1 過渡期を迎えた

日盲社協視覚障害者施設を束ねて50年…… 加藤俊和

特集 2 50周年迎えたロゴス点字図書館…… 和泉真佐子

ルポ CSUN Conferenceレポート

——視覚障害者関連技術の動向……中根雅文

今を走る まっすぐな研究者、愼英弘さん——愼教授は超多忙

アジアレター バングラデッシュで点字図書館の設立に邁進する

バシュカル バタチェアリー (Vashkar Bhattacharjee) さん
……山口芦風

表紙写真：写真は、日本点字技能師協会発行の会員証。

同協会は去る3月に発足、現在51名が会員となっているが、写真の会員証により技能を証明することになる。

視 覚 障 害 —その研究と情報—

2003年7月 No.186

年間購読料 4,200円（送料とも）

発行日 2003年 7 月 1 日

編集人 高橋 実

（連絡先）社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター

〒167-0043 東京都杉並区上荻 2 丁目37番10号 Keiビル

電話 (03) 5310-5051 (代) FAX (03) 5310-5053

<http://www.siencenter.or.jp/>

振替口座 00160-4-16103

発行人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6 - 26-21

印刷所 株式会社 大活字

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 1 - 1 - 9 三崎町ビル 3 階

電話 (03) 5282-4361 FAX (03) 5282-4362